

学校だより

第2号

ONE TEAM

高中訓：行動につなげる～考える・表現する・協働する高中生～
めざす生徒像

- 健康や安全を意識して生活する生徒
- 自分や周りの人のことを考え行動する生徒
- 進んで学習に取り組む生徒

立派な高中生の姿

7月3日から西三河中学校選手権大会の碧南・高浜地区予選会が行われました。過日の部活動決意表明式で各部長が意気込みを語ってくれた通り、高中生は部員が一体となった戦いを繰り広げました。西三大会に駒を進めたチームや個人がある一方で、この予選会で戦いを終えた部活動もあります。いずれにせよ、高中生は立派に試合に挑みました。よい結果を修めた部活動・生徒は本日の全校集会にて表彰伝達を行いました。大会が行えたことに感謝します。保護者の皆様の応援・ご協力、ありがとうございました。また、春休みから碧南・高浜地区予選会までの部活動に関わる表彰については、下の表での紹介に代えさせていただきます。おめでとうございます。



- ・柔道部 2020年度西三河中学校新人柔道大会 男子団体の部 第3位
- ・ソフトテニス女子 第49回愛知県中学生ソフトテニス大会碧南高浜予選会 女子個人の部 第3位 内藤優空 楠 唯依
- ・陸上 西三河中学校春季陸上大会 男子円盤投げ 第2位 北岡知也
- ・陸上 第67回全日本中学校通信陸上競技西三河予選会 女子走り高跳び 第1位 藤井 咲楽
- ・剣道部 第45回西三河西部剣道大会 中学男子の部 優勝

夢に向かって

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、学校生活においてたくさんの変更を行いました。また、保護者の皆様には様々なお願いや依頼をいたしました。ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

先行き不透明な時代という言葉をよく聞きます。依然として新型コロナウイルスの感染には注意が必要で、以前ならできたことができないという状況があります。しかし、そのような状況でも、生徒は工夫しながら学校生活を送り、目標に向かってがんばる姿が見られます。例年、高浜市で少年の主張大会が開かれます。今年は3年生の角谷朋香さんが発表する予定でしたが、残念ながら今年度は中止となってしまいました。角谷さんの作文には、これからどんな苦難が訪れようとも、夢に向かって力強く生きていこうとする決意が表れています。生徒の皆さんは、これから夏休みが始まります。長い休み中、自分の未来を思い描く時間をつくり、9月からまた元気に登校してもらいたいと思います。

未来を思い描く

高浜中学校3年 角谷朋香

「医者になる。」

それは、小学五年生の時の私の決意です。産婦人科医師のドラマを見たことがきっかけでした。命の誕生が描かれていてドラマチックだと思いました。

「かっこいい。私も医者になりたい。」

こうしたほんの小さなきっかけの決意を母に話しました。母なら、私の思いを受け止めて、励ましてくれと思っていました。けれども、母から思いがけない言葉が返ってきました。

「医者には厳しい世界だと思う。」

この言葉は、私にとって衝撃でした。私の将来に向けた夢を、誰もが応援してくれる。そう思い込んでいました。それでも、私のことを一番知っている母がそう言うのなら、私には向いていない仕事なのかなと考えるようになりました。医者になる。今思えば、私は小学生のかわいらしい夢を語っただけだったかもしれません。母は、現実から大人のアドバイスをしてくれたのかもしれませんが。

私は、努力が苦手です。繰り返しやっていると集中力が途切れてしまいます。人とコミュニケーションを取ることも苦手です。友達とでも本質に迫る話になると言葉をうまく選べなくなってしまう。やはり、医者という職業は、私には難しいかもしれないと考えるようになりました。私は、夢に対する自信や憧れを思い描きにくくなり、医者になると口にできなくなりました。

そんな中、大好きだった祖母が亡くなりました。絵本の読み聞かせや添い寝をしてくれたり、話を一緒に笑い合ったりした大切な祖母でした。祖母の命の灯火が消え、私たち家族は、涙に暮れました。何度も入退院を繰り返していたにもかかわらず、最期まで私に優しくあった祖母。病院から祖母の亡骸を引き取る時に、父は、病院の医師、看護師、スタッフに深々と頭を下げ、お礼を伝えていました。祖母が、最期のときを穏やかに迎えられたのは、病院のスタッフの方々に、治療だけでなく心を支えられていたからだだと母に聞きました。私には、医師達の姿がまぶしく感じられました。一人一人の命がここに存在する間、いきいきと過ごすことができるように寄り添うことが大切だと教えられたのです。

今、世界では、新型コロナウイルスが猛威を振るっています。昨年度、学校が休校になり、当たり前だった毎日がいかに貴重かを知ることになりました。そして、医療現場の医師達は、一年以上も私たちの健康と人々の心のつなぎとめるために、休むことなく働き続けています。

私は、テレビのニュースで、ある1枚の写真を目にしました。新型コロナウイルスに感染した高齢の男性を優しく抱きしめる医師の姿です。高齢の男性は、

「寂しい、妻に会いたい。」

と、泣いていたのです。医師は、男性を優しく抱きしめ、慰め続けていました。新型コロナウイルスの正体がまだ分からない、感染して命の危険が自分にも及ぶかもしれない、そんな恐怖にさらされる中で、一人の患者に優しく寄り添う医師の姿に、私の心は揺さぶられました。

母があのと時言った「厳しい世界」とは、自分の命を守りつつ患者に寄り添う強い心を持ち続けることを指していたのだと、今は分かります。コロナウイルス感染症がまだまだ拡大する中、人々の不安はますます大きくなっています。だからこそ、人の生死に正面から向き合い、患者の不安を取り除き、患者の家族の気持ちをケアする医師の仕事はカッコいいのです。この世の中の難局を乗り切らねばならないという使命感が、とてつもなく、カッコいいのです。

今の私は、幼い日の私とは違います。だから、強い心をもって

「医師になりたい。」

と言います。そして、医療現場で働くカッコいい大人を目指します。

夏休みの「学校閉校日」のお知らせ

今年の夏休みは、下記の日程で市内小中学校が閉校となります。

- 1 期間 令和3年8月10日（火）～16日（月）
- 2 閉校日の期間は、土日と同様、職員が学校にいません。電話は、留守番電話に設定します。緊急連絡のあるときは、高浜市教育委員会（Tel52-1111）へお願いします。